

## 第5章 リマークの一覧表

EA気象データの特別値と日別値には、データの属性(観測値,推定値,代用値等)を表すリマークが付けられています。リマークは0～9までの整数で表現され、全データの1の位に付してあります。リマークの説明を要素別に表5.1～5.15に示します。

表5.1 気温（1981～2000年）のリマークの定義

気温	
特別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP)：アメダスの欠測時刻の気温を同地点のSDPによる観測値で代用* <sup>a)</sup> 。
2	観測値(SDP)：アメダスによる観測値とSDPによる観測値との差異が2℃以上あるとき、その時刻と前後の時刻の気温をSDPの観測値で代用* <sup>a)</sup> 。
3	推定値：アメダスで7時間以上継続して欠測しているとき、欠測時刻の気温を他地点の同時刻の観測値から回帰式により推定。
4	推定値：アメダスで欠測の継続が6時間以下のとき、欠測時刻の気温を前後の時刻の観測値から直線補間により推定。
5	推定値：アメダスによる観測値が7時間以上継続して同一値のとき、それを異常値と判断し、前後数時間の気温も含めて、他地点の同時刻の観測値から回帰式によって求めた推定値と置換。
6	推定値：アメダスによる観測値が日変動曲線から突発的に外れたとき、それを異常値と判断し、前後数時間の気温も含めて、他地点の同時刻の観測値から回帰式によって求めた推定値と置換。
8	推定値：長峰では1990年3月14日から、野母崎では1991年3月29日からアメダスの観測を開始している。この2地点での未観測期間を長時間の欠測とみなし、他地点の同時刻の観測値から回帰式により推定。
9	推定値：父島では1986年3月18日から、阿蘇山では1990年3月14日からアメダスの観測を開始しているが、この2地点は気象官署なので、SDPによる観測値は3時間ごとに存在する。SDPの観測値が存在しない時刻を短時間の欠測とみなし前後の時刻のSDPの観測値から直線補間により推定。
日別値	
0	観測値(アメダス)
5	推定値：日平均値を計算する24時間の気温に、推定値が含まれている。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.2 気温（2001～2007年）のリマークの定義

気温	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP)：アメダスの欠測時刻の気温を同地点のSDPによる観測値で代用 <sup>*a)</sup> 。
2	観測値(SDP)：アメダスによる観測値とSDPによる観測値との差異が2℃以上あるとき、その時刻と前後の時刻の気温をSDPの観測値で代用 <sup>*a)</sup> 。
4	推定値：アメダスで欠測の継続が6時間以下のとき、欠測時刻の気温を前後の時刻の観測値から直線補間により推定。
7	推定値：アメダスで7時間以上継続して欠測しているとき、欠測時刻の気温を他地点の同時刻の観測値から回帰式により推定。
日別値	
0	観測値(アメダス)
5	推定値：日平均値を計算する24時間の気温に、推定値が含まれている。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.3 気温（2008～2010年）のリマークの定義

気温	
時別値	
0	観測値(アメダス)
3	推定値
日別値	
0	観測値(アメダス)
5	推定値：日平均値を計算する24時間の気温に、推定値が含まれている。

表5.4 絶対湿度（1981～2010年）のリマークの定義

絶対湿度	
時別値	
1	観測値(SDP) <sup>*a)</sup>
2	推定値：複数のSDPの観測値で内挿した推定値。
3	代用値：気象特性が類似していると推測されるSDPの観測値で代用した値。
4	推定値：観測値に含まれる欠測を前後の観測値で直線補間した推定値。
5	推定値：観測値に含まれる欠測を複数のSDPの観測値で内挿し、その推定値をさらに直線補間して得られた推定値 <sup>*a)</sup> 。
6	推定値：SDPの観測値を高度補正した推定値。
日別値	
1	観測値(SDP) <sup>*a)</sup>
2	準観測値：時別観測値の日平均が原簿と異なる。
3	推定値

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.5 日射量（1981～2000年）のリマークの定義

日射量	
時別値	
1	観測値 (SDP) : SDPによる観測値を毎正時の前後30分の積算値に読み替えた値 <sup>*a)</sup> 。
2	推定値
日別値	
0	観測値 (SDP)
2	推定値: 時別値の3時間以上が推定値。
3	準観測値: 時別値に3時間未満の推定値が含まれる。
4	準観測値: 時別観測値の合計が原簿と異なる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.6 日射量（2001～2010年）のリマークの定義

日射量	
時別値	
1	観測値 (SDP) : SDPによる観測値を毎正時の前後30分の積算値に読み替えた値 <sup>*a)</sup> 。
2	推定値
3	観測値 (1分値気象データ)を毎正時の前後30分で積算した値 <sup>*a)</sup> 。
日別値	
0	観測値
2	推定値: 時別値の3時間以上が推定値。
3	準観測値: 時別値に3時間未満の推定値が含まれる。
4	準観測値: 時別観測値の合計が原簿と異なる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.7 大気放射量（1981～2010年）のリマークの定義

大気放射量	
時別値	
2	推定値
日別値	
2	推定値

表5.8 風向（1981～2010年）のリマークの定義

風向	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP) <sup>*a)</sup>
2	推定値：欠測または異常値の発生した前後の時刻の風向・風速の観測値を東西成分と南北成分に分解し、それぞれを直線補間した後、ベクトル合成して得られた方向成分。
3	推定値：その地点の風向・風速と相関が高い数地点の同時刻の風向・風速による重回帰式から東西成分と南北成分を推定し、ベクトル合成して得られた方向成分。
5	推定値：1～3で処理できない場合について、前後の風向・風速の観測値または推定値を東西成分と南北成分に分解し、それぞれを直線補間した後、ベクトル合成して得られた方向成分。
日別値 <sup>*b)</sup>	
0	観測値(アメダス)
1	推定値：風向または風速の24個の時別値に推定値が含まれる場合の推定値。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

\*b)日別値とは、日最大風速が出現した時刻の風向(日最大風速が複数あるときは、それが最初に出現した時の風向)をいう。

表5.9 風速（1981～2010年）のリマークの定義

風速	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP) <sup>*a)</sup>
2	推定値：欠測または異常値の発生した前後の時刻の風向・風速の観測値を東西成分と南北成分に分解し、それぞれを直線補間した後、ベクトル合成して得られた大きさ成分。
3	推定値：その地点の風向・風速と相関が高い数地点の同時刻の風向・風速による重回帰式から東西成分と南北成分を推定し、ベクトル合成して得られた大きさ成分。
5	推定値：1～3で処理できない場合について、前後の風向・風速の観測値または推定値を東西成分と南北成分に分解し、それぞれを直線補間した後、ベクトル合成して得られた大きさ成分。
日別値 <sup>*b)</sup>	
0	観測値(アメダス)
1	推定値：風向または風速の24個の時別値に推定値が含まれる場合の推定値。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

\*b)日別値とは、24個の時別値の平均値をいう。

\*c)風速計の設置高さが6.5mとは異なる地点については、時別値、日別値ともに高さ補正を施している。

表5.10 降水量（1981～2007年）のリマークの定義

降水量	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP)：気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値とSDPの観測値との差が2mm/h以上あったため、アメダス観測値に異常があると判断して、SDPの観測値で置き換えた値 <sup>*a)</sup> 。
2	観測値(SDP)：気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値 <sup>*a)</sup>
3	代用値：欠測を1から10番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
4	代用値：欠測を3の方法で補充できなかったため、11から20番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
5	推定値：欠測を前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値：時別値のリマークに1～5の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.11 降水量（2008～2010年）のリマークの定義

降水量	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	観測値(SDP)：気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値 <sup>*a)</sup>
4	代用値：欠測を1番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
5	代用値：欠測を2番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値 <sup>*b)</sup> 。
6	代用値：欠測を3番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値 <sup>*c)</sup> 。
7	推定値：欠測を前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値：時別値のリマークに1～7の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

\*b)代用候補地点の1番目が欠測の場合に適用

\*c)代用候補地点の1番目と2番目が欠測の場合に適用

表5.12 降水量 (RWY8195.wea) のリマークの定義

降水量	
時別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値: 欠測を前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
2	代用値: 欠測を1から10番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
3	観測値 (SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値
4	観測値 (SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値とSDPの観測値との差が2mm/h以上あったため、アメダス観測値に異常があると判断して、SDPの観測値で置き換えた値 <sup>*a)</sup> 。
5	代用値: 欠測を、2の方法で補充できなかったため、11から20番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値: 時別値のリマークに1~5の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.13 日照時間 (1981~2007年) のリマークの定義

日照時間	
時別値	
1	観測値(アメダス):アメダスの観測値(前1時間積算値)を正時の前後30分の積算値に変換した値。
2	観測値 (SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値とSDPの観測値との差が0.3h以上あったため、アメダス観測値に異常があると判断して、SDPの観測値で置き換えた値 <sup>*a)</sup> 。
3	観測値 (SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値 <sup>*a)</sup> 。
4	代用値: アメダスで長時間欠測であったため、日照時間が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
5	代用値: アメダスで観測が行われていない期間であったため、日照時間が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
6	代用値: アメダスで日出直後もしくは日没直前に欠測があったとき、4及び7の方法で補充できなかったため、前の時刻の観測値もしくは後の時刻の観測値で代用した値。
7	推定値: アメダスで短時間欠測であったため、前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値: 時別値のリマークに2~7の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

表5.14 日照時間（2008～2010年）のマークの定義

日照時間	
時別値	
1	観測値(アメダス):アメダスの観測値(前1時間積算値)を正時の前後30分の積算値に変換した値。
2	観測値(SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値 <sup>*a)</sup> 。
4	代用値: 欠測を1番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
5	代用値: 欠測を2番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値 <sup>*b)</sup> 。
6	代用値: 欠測を3番目に降水量が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値 <sup>*c)</sup> 。
7	推定値: 欠測を前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
8	推定値: 可照時間外の欠測に0値を代入
9	推定値: 日出, 日入の欠測のため0値を代入
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値: 時別値のマークに2～7の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。

\*b)代用候補地点の1番目が欠測の場合に適用

\*c)代用候補地点の1番目と2番目が欠測の場合に適用

表5.15 日照時間（RWY8195.wea）のマークの定義

日照時間	
時別値	
1	観測値(アメダス):アメダスの観測値(前1時間積算値)を正時の前後30分の積算値に変換した値。
2	代用値: アメダスで長時間欠測であったため、日照時間が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
3	代用値: アメダスで観測が行われていない期間であったため、日照時間が類似している周辺のアメダス地点の観測値で代用した値。
4	推定値: アメダスで短時間欠測であったため、前後の時刻の観測値で直線補間した推定値。
5	代用値: アメダスで日出直後もしくは日没直前に欠測があったとき、4及び7の方法で補充できなかったため、前の時刻の観測値もしくは後の時刻の観測値で代用した値。
6	観測値(SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値が欠測であったためSDPの観測値で補充した値 <sup>*a)</sup> 。
7	観測値(SDP): 気象官署に併設されたアメダス地点で、アメダス観測値とSDPの観測値との差が0.3h以上あったため、アメダス観測値に異常があると判断して、SDPの観測値で置き換えた値 <sup>*a)</sup> 。
日別値	
0	観測値(アメダス)
1	推定値: 時別値のマークに2～7の何れかの値が含まれる。

\*a)気象官署に併設されたアメダス地点のみに適用。